

平成30年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立三田小学校
作成日	平成31年 3月15日

1 教育目標

主体的・創造的な子どもを育てる。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> 県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る。 毎日の勉強が分かる。(児童アンケート 90%) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校が楽しいと感じる。(児童アンケート 95%) 「みんなの道徳」等の活用 100% いじめの解消率 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 朝ごはんを食べた。(児童100%) 積極的に運動を行うよう計画し、実践した。(教師 90%) 避難訓練で、一次避難が避難開始より4分以内。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の様子がよく伝わった。(保護者アンケート80%) ゲストティーチャーを招く等、地域の人材や文化等を学習に取り入れることができた。(教師 90%)
重点目標に対する	<ul style="list-style-type: none"> 基礎基本をしっかり身に付けることで応用力に繋がります。また、個々の学力に応じた指導も保護者としてはありがたいです。 表現力の育成はコミュニケーション能力にもつながると思います。「かく」だけではなく「会話する」授業も必要だと思います。 「読み」「書き」の習慣づけを根気よくお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業を通じて人としての成長を促して頂きたいと思えます。いじめゼロが本来の姿であると思えますが、発生した場合は、被害者・加害者共にしっかりとフォローが必要です。 誰とも自然に挨拶ができる習慣を身につけていってほしいと思います。 挨拶や掃除は基本です。先生方が見本となって根気よく続けていくことにより子どもに自然と身につけていってほしいと思います。 道徳、人権教育の充実により、自分も他人も大切に育ち、いじめに対する意識も変化すると思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝ごはんを食べることは、その一日の授業に対する集中力をつけるために必要であり、体力向上においても必要なことと考えます。 学校主体での体力向上に期待いたします。また、定期的な避難訓練の実施も、家庭で活かすことができると思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の声を聞くことで、普段の授業では得られない知識を得る事が出来ると思えます。 地域の理解・協力は小学校教育では不可欠と思えます。今後も継続をお願いします。
取組状況に対する	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習や基礎学タイムなど、継続した取り組みが行われており、着実な学力向上につながっていると思えます。 継続した取り組みには「飽き」もでてくるものですが、先生方の取組のおかげで児童も興味をもって勉強されていると思えます。 読書の習慣づけも大切だと思います。ジャンルにとらわれることなく、どんどん活字を読む習慣づけをお願いします。 基礎学力の向上には、家庭学習の定着も必要と考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> スマホや携帯電話に関しては、大人よりも扱いが慣れてるように思えます。教育の際は比較的高度な内容でもよいのでは？ 挨拶について、どういふときにどういふ挨拶が適切かを先生方が示していただければと思います。 「わうくらす」などを通じ、命の大切さを学ぶことはとても大切だと思います。これからも取り組んでほしいと思います。 教材を有効活用し、さらに道徳、人権の授業の充実をはかってほしいと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な取り組みを独自で行っているのは素晴らしいことだと思います。 SANTA50などは普段の生活を振り返るのに有効であると思えます。 避難訓練は校内だけではなく、校区内でも行ってほしいと思えます。 生活改善などは、学校だけでなく保護者の意識改革が必要となると思えます。学校が家庭に粘り強く啓発していく必要があると思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業では、稲作をはじめ餅つき、しめ縄づくりなど、地域の特色を生かした学習が行われています。また地域探検を通じて、地元を知ることも大切だと思います。 子どもまつりや餅つき体験では、地域の皆さんからも協力頂き、地域全体で子どもたちを育てるという環境ができています。 各種便り、ホームページ等を利用して、学校の情報発信は家庭、地域との連携においてとても大切だと思うので、これからも続けてほしいと思えます。
取組の適切さの検証結果	<ul style="list-style-type: none"> 学習到達度調査の結果がすべてであるとは思いませんが、改善点の洗い出しとそれに対する取り組み、また良い部分もさらに伸ばしていく取り組みをお願いします。 少なくとも、学校の授業をしっかり理解できるようになればと思う次第です。 	<ul style="list-style-type: none"> 掃除に対する意識、挨拶に対する意識が高まっているように思いました。 「いのちを大切に」で中学年が「とてもそう思う」回答が半分を切っています。(高学年は53%) 通学の様子を見ていると、みんな仲良く元気に登校できています。 アンケートがすべてだとは思いませんが、児童アンケートの「学校が楽しい」が100%到達を期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝ご飯を食べてこない児童がいるということで、これに限ったことではありませんが「なぜ食べなければならないのか」から理解させることが大切だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果の「学校の教育活動や子どもの様子を保護者に分かりやすく伝えている」で、あまりそう思わない・思わないが22%と改善されているように思えます。SNS等を有効に使うことでよりよい情報発信をお願いします。 学校、子どもたち、地域の連携は少しずつつつあると思われるが、家庭、保護者との連携の充実にはさらにも必要かと思われま。 体験活動はさまざまなことができていますので良いと思えます。体験活動は幅広く人間形成に影響を与えるため、さらに地域の協力を得て広げていくようにしていただきたいです。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> まずは、学校の授業を理解できるように。児童アンケート「毎日の勉強がわかる」90%以上達成に向けた取り組みをお願いします。 朝学、基礎学、放課後フォローアップは引き続き実践してほしいと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 「学校が楽しいと感じる」95%達成はもちろんですが、「楽しいと思わない」0%も大切だと思います。そのためには魅力づくりが必要です。地域も巻き込んでいろいろな施策を検討していただきたいと思います。 いじめゼロを目指す取り組みをお願いします。 道徳、人権教育を通して、自他を大切に思いやる心を育む取組を深めてほしいと思えます。 携帯、スマートフォンのトラブルについても、必要な授業だと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝ご飯については、家庭も巻き込んだ取り組みが必要だと思います。また、朝食の効果(生活習慣・体力・学力等との関係)について保護者に理解してもらうことも大切だと思います。 運動は、個人差もありませんので一律には難しいと思えますが、児童自身が楽しく運動する取り組みをお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取組は継続に加えて、時代に合わせた変化もお願いしたいと思えます。 地域との連携をより密にし、様々な場面で協力し合える体制づくりが必要だと思います。その為の取組みも検討をお願いします。

3 その他のご意見

児童の健やかな成長のためには、学校、家庭、地域が一体となった取り組みを進めていく必要があります。その中で学校の持つ役割は極めて大きく、今年度実施してきた様々な取り組みを継続していただくとともに、新たなアイデアの導入など、児童教育の更なる充実をお願いします。

また、学校だけでなく、保護者・地域社会がより密に協力し合い、意見を出し合い、良いものについては積極的に実践して、より充実した学校運営に繋がることを期待します。

土曜参観終了後の講演会に参加する保護者が少なくなっています。時代の流れでは済まされないと考えます。増やしていく手立てをお願いします。

大人は常に子どもの手本となるような責任ある行動が期待されます。大人が信号無視をする姿をよく見かけます。自覚が必要だと思います。

校区に新しい道ができ、地域外からの自動車が多くなり、子どもたちの安全の見守りを強化していく必要があると思えます。

学校行事(運動会、夏祭り、学校開放)を手描きのポスターで掲示して、地域住民の学校への参加を要請してはいかがでしょうか。